

「注意」

このユーザーマニュアルは元英語マニュアルを基に翻訳されたものです。内容が部分的に異なったり、間違いがある可能性がありますのでご了承ください。もしご質問や不明点ありましたらこちらのメールアドレスにご連絡をお願いいたします

befaco.jp@befaco.org



CRUSH DELAY

ユーザーマニュアル

BIFACO

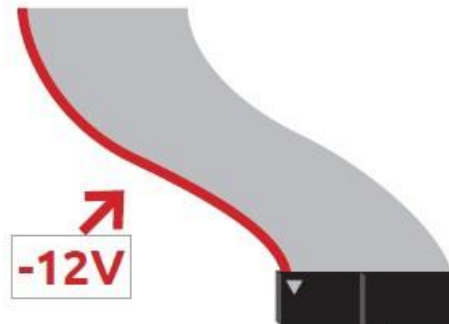
電源

BEFACOからモジュールを購入していただきありがとうございます！

このモジュールを使う前にこのマニュアルをお読みください。

1. 接続するモジュラー収納ケースの電源コードを外してください
2. 電源コードの極性をしっかりご確認ください。ケーブルの色付きの線(ピン番号1)は-12Vレベルです。
3. モジュールを逆向きに差し込むと壊れる可能性がありますのでご注意ください。(この場合は保証対象外になります)
4. この製品についてご質問ありましたら、こちらにお問い合わせください

befacojp@befaco.org



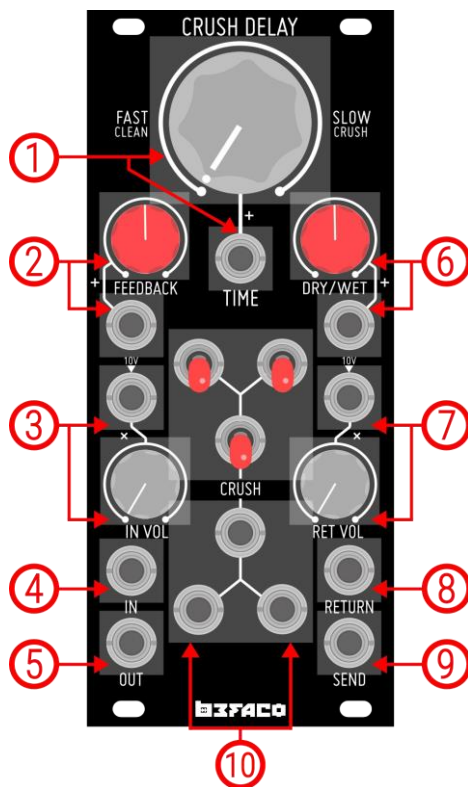
製品概要

CRUSH DELAYとは？

クラッシュディレイV3はPT2399 ICチップに基いて開発された特別なエコー・ディレイユニットで、400msのクリーンディレイと最大2秒のダーティな繰り返しを提供し、グリッチなテクスチャーなど様々な効果音を作るのに最適なモジュール。この3番目のバージョンには、再設計されたVCA回路とレンジの広いクリーンディレイを搭載。幅はたったの11HPで、コンパクトながら強力な機能を備えたユニークなモジュール。

モジュール参照

パネルの説明



1. TIME 時間ノブと入力端子
ディレイ(遅延)時間コントロール(手動・CV)。信号は、ノブの中央位置から時計回りにクラッシュエフェクトが追加し始めます。

2. FEEDBACK フィードバック
信号パスにあるフィードバック量調整。手動またはCVで設定できます。

3. IN VOL ボリューム入力
メイン入力信号の音量。専用のCV入力により、通常のVCA回路として機能します。

4. IN(入力)
モジュールのメインオーディオ入力。

5. OUT(出力)
モジュールのメインオーディオ出力。

6. DRY/WET ドライ/ウェット
出力のドライ信号とウェット信号の量。手動とCVのどちらでも設定できます。

7. RET VOL リターン音量
リターン入力信号の音量。専用のCV入力により、通常のVCA回路として機能します。

8. RETURN リターン
オーディオ入力をリターン。ディレイ回路に入る前にメインオーディオ入力に加算されます。

9. SEND センド
完全にウエット信号を出力します。

10. CRUSH クラッシュ・セクション
さまざまなクラッシュ設定のオン/オフスイッチとゲート入力。

モジュール参照

ブロック図

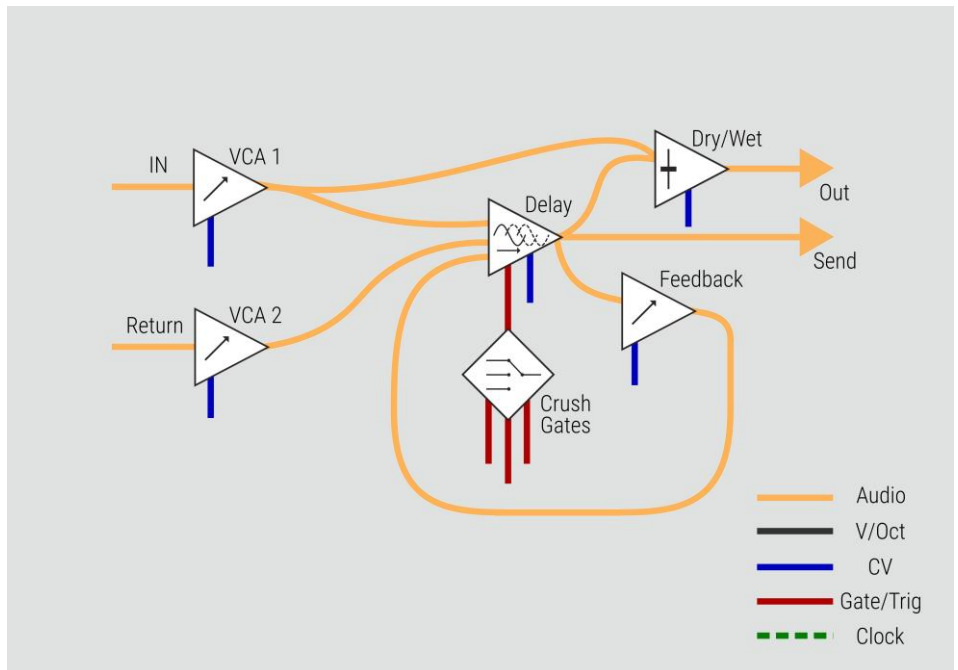
信号経路

こちらのブロック図を見ると、Crush Delayの信号の流れを簡単に理解できます。

このモジュールには2つの入力（インおよびリターン）があり、それぞれが専用VCAを介して遅延回路に送られます。両方の入力の主な違いは、INに供給される信号が遅延回路だけでなく、ドライ/ウェット回路にも通るので、メイン出力（OUT）信号のドライ・ウェット・バランスを簡単に調整できます。

信号は、クラッシュ回路の影響を受ける遅延回路によって処理されます。3つのクラッシュスイッチの位置やクラッシュ入力でのゲート信号によって、さまざまな方法で信号を劣化させます。

処理された後、信号は3つの異なるパスにルーティングされます。1つ目はドライ/ウェット回路で元の入力信号（IN）と混合され、メイン出力（OUT）に送信されます。2つ目は、別のVCA（フィードバック）を介して遅延回路に戻され、ウェット信号の繰り返しの数を制御します。3つ目は直接送信出力に進みます。



機能ブロック

入力

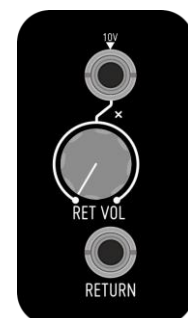


IN (イン、入力)

モジュールのメイン入力回路です。信号は専用のVCAを介して、遅延および遅延/ウェットサイクルに送られます。IN VOLノブは、そのCV入力に何も接続されていない状態だと信号の音量をコントロールします。このCV入力信号は10Vに正規化されている為、信号が入力されるとCV信号を減衰します。

リターン

モジュールの第2入力セクションです。リターンは基本的にINセクションと同じ構造ですが、INと違ってリターンの信号はドライ・ウェット回路ではなく、遅延回路だけに送られます。INと同様、専用のVCAとCVコントロールも搭載。このCV入力信号は10Vに正規化されている為、信号が入力されるとCV信号を減衰します。



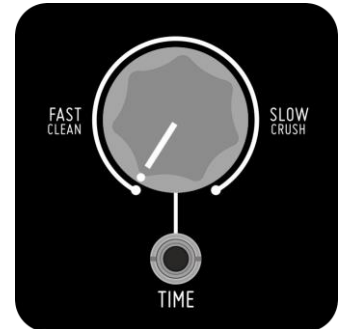
機能ブロック

遅延回路

タイム(時間)

タイムは、遅延回路の主要なパラメータです。受信する信号の遅延量を設定します。さらに、特別なサーキットベンディング技術(クラッシュ・セクション)を使用し、スローレートで信号を歪みます。左に振り切った位置から真ん中まで400ミリ秒までのクリーンディレイ効果、そして真ん中から右に振り切った位置までクラッシュ効果が得られます。

専用のCV入力は、ノブの位置に足算されるのでクラッシュやディレイの量を簡単にモジュレーションできます。CV入力信号は+/-10V専用です。



フィードバック

ディレイ回路で処理されてから、信号がVCA回路を通過してまたディレイに送信されます。このプロセスはフェードバックと呼ばれ、ディレイ効果の「繰り返し」効果を生み出します。

フィードバックノブとCV入力を使用して、ディレイの「繰り返し」の回数をコントロールできます。タイムセクションと同様、CV入力の信号がインプットを作成し、これらの反復を制御することができます。時間セクションと同様、CV入力はノブの位置に足算されます。CV入力信号は+/-10V専用です。

ドライ/ウェット

この回路は、メイン出力(OUT)の元信号と加工信号のバランスを調整します。

CV入力はノブの位置に足算されます。

CV入力信号は+/-10V専用です。



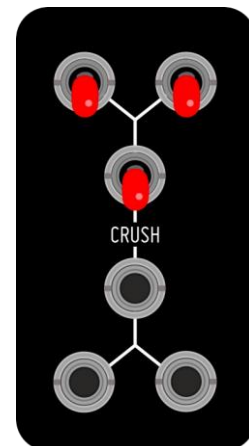
機能ブロック

クラッシュセクション

クラッシュ・セクションは、Crush Delayの最もユニークな部分です。サーキットベンディング技術に基いて発明された「クラッシュ・モディファイヤー」を搭載。これはディレイ回路の通常操作とは異なる様々な効果をもたらす色々な効果音、ノイズやトーンを生み出せる、唯一無二の回路。


各モディファイヤーは手動でも有効できますし、ゲート信号入力でもコントロールできます。(ゲート入力のスレッシュホールドは3V)。

3つのモディファイヤーを組むことによって、様々な効果音、ノイズやテクスチャーを簡単に作れて、無限な可能性を秘めている。アンビエント・ドローン音楽もちろん、パーカッションなどリズムカルなパターン作りにも適しています。



その他

仕様 & クレジット


* 幅: 11HP

* 奥行: 30mm

* +1 2v: 130mA

* -1 2v: 30mA



* デザイン: Pascual Rocher

すべてのBefaco Teamの開発にご協力いただきありがとうございます。